

# 最高裁判決完全勝利！ 「時代の扉が動いた」

郵政労働契約法 20 条東西裁判の最高裁判決が 10 月 15 日、最高裁第 1 小法廷（山口厚裁判長）で言い渡された。判決は会社側の上告をすべて棄却し、①年末年始勤務手当、②扶養手当、③夏期・冬期休暇、④有給の病気休暇、⑤年始期間の祝日給について、正社員との不格差が不合理で違法であるとし、日本郵便に対して、旧労働契約法 20 条に反する不法行為として損害賠償を認めた。また、損害額の確定が必要なものは高裁に差し戻した。住居手当は審理とはならず、勝訴の高裁判決が確定している。原告側の完全勝利であり、画期的な勝利判決である。



大阪高裁判決で逆転敗訴した扶養手当は、「生活設計等を容易にさせること」、「継続的な雇用を確保する」という目的から、契約社員にも「扶養親族があり、相応に継続的な職務が見込まれるものであれば」扶養手当の支給は妥当であり、支払いを命じました。

年末年始勤務手当は、「多くの労働者が休日として過ごしている期間に働くこと自体への特別勤務手当」、最繁忙期の勤務の対価を契約社員には支払わないことは不合理としました。年始期間の祝日給

も同様の理由で、不合理と認めました。実際に現場で働く労働者のあたりまえの主張が認められました。

有給の病気休暇は生活保障を図り、療養に専念し、継続的な雇用を確保するという目的から契約社員についてもその趣旨は妥当として、病気休暇に有給と無給の相違を設けることは不合理としました。夏期冬期休暇は無給の休暇を取得した「主張立証」がないとして、損賠を認めなかった東京高裁判決は解釈適用を誤った違法があり、夏期冬期休暇を与えないのは不合理と認め、損害額を確定させるために高裁に差し戻しました。

争点のひとつとなっていた大阪高裁が手当と休暇に付けた「5年基準」は、「相違を設ける根拠は薄弱」として認めませんでした。



## ◆会費・カンパのお願い◆

### 「労働契約法 20 条裁判をたたかう郵政原告団を支える会」

新規加入・継続・カンパ等ご協力いただける方は、住所・氏名を明記のうえ、下記へ送金願います。

年会費 個人1口 1000円

団体1口 3000円

郵便振替口座 00170-7-386997

「郵政 20 条裁判を支える会」

# 正義の判決を！ 熱く燃えた最高裁行動！！



判決には残念ながらコロナ禍で3人の原告が参加できませんでしたが、東から3人全員、西からは5人の原告が参加しました。弁護団も東からは7人、西からは9人が参加し、判決に臨みました。マスクミからの要請で最高裁の入場は正門からとなりました。

最高裁前の事前集会には約120人の組合員、支援のみなさんが結集しました。小雨の中、原告が判決に臨む決意を語りました。集会終了後、正門に移り、判決を待ちました。15時半頃に原告、代理人が満面の笑みをうかべて最高裁から出てきました。集会参加者にも「結果」はすぐにわかりました。正門前の原告が掲げた「勝訴」の旗出しに一斉にカメラのシャッターが切られました。この写真が翌日の新聞各紙の紙面を飾りました。

場所を衆議院第一議員会館に移し、記者会見と報告集会が行われました。記者会見場の第4会議室は満杯となりました。原告一人ひとりの発言は本当にしっかりとし、素晴らしいものでした。

報告集会にも多くのみなさんが参加してくれました。東西弁護団からの判決報告があり、伊藤岳参

議院議員、山添拓参議院議員、福島みずほ参議院からお祝いと連帯のあいさつがありました。郵政20条裁判支える会共同代表の1人でもある竹信三恵子和光大名誉教授、全労連から小畑雅子議長、全労協から渡邊洋議長があいさつしました。東部労組の須田書記長からの熱い連帯のあいさつに続いて、13日に不当判決があった大阪医科大原告のAさん、メトロコマース原告の後呂さんからも発言がありました。

## 支える会共同代表

大阪市立大学 西谷敏名誉教授より

最高裁判決の結論は当然と思いますが、13日の判決があったので、少し心配しておりました。

勝利判決に心からお祝い申し上げます。

これからの団体交渉もがんばって下さい。



## 支える会会員のみなさまへ

会員のみなさまの支えがあつての勝利判決です。これまで本当に暖かいご支援に感謝いたします。また、判決後、お祝いのメールを多数いただきました。ありがとうございます。

今回、第一次訴訟は勝利することができました。しかし、たたかいはこれで終わりではありません。東日本原告3人が拡張請求を求めた追加訴訟、さらに原告154人の全国集団訴訟があります。最高裁判決を追い風に訴訟は進められます。20条裁判はこれからもまだまだ続きますので、何卒これまで以上の裁判へのご理解とご支援をお願いいたします。

支える会事務局長 中村知明